

活動紹介

～秋の行事いろいろ～

自然の大切さを伝えるボランティアの養成を目的に毎年行われる「ボランティア入門講座」が今年も行われました。ボランティアといえば災害援助の時などに活躍する様子がよく報道されますが、葦の会では体を使って援助するだけでなく、地道に長く続けられる活動をしていきたいと思っています。きらら浜自然観察公園や葦の会の活動について理解してもらうために開かれる講座を受講され、楽しい仲間がどんどん増えていく事を期待しています。

尚、10月26日(日)にきらら浜自然観察公園でふれあいまつりを開催します。ただ今準備の真っ最中!! 会員一同張り切っています。

一般対応チーム ～特別の知識はいりません～

9月28日(日)、第13回ボランティア説明会が開かれ一般対応チームは、午前中ガイドウォークにレンジャーと共に説明会参加者のお世話をしました。出口サブリーダーは「このチームはトリに関して特別な知識がないとボランティアが務まらないと思われがちですが、特別な知識の無い私たちでも出来ることがあるということを知って気軽にボランティアに参加していただくと嬉しいです」と話しています。



ショートプログラムチーム ～嬉しいメッセージ(´▽`)～

8月21日(木)出張紙芝居上演をしました。場所は阿知須社会福祉協議会内の「おげんき館」。この日開かれていた手話講座の後、「今年もツバメがやってきた」を会員3名が披露しました。学校で習う以上に詳しいツバメの生態を学べたようで阿知須小学校の学童保育の子どもさんたち約70名はとても興味を持って静かに見入っていました。後日「面白かったよ!!」と嬉しいメッセージが観賞された親子さんから届き、メンバー一同ニンマリです。

格闘続く環境サポートチーム

オオアカウキクサとの根競べを続けている環境サポートチームですが、今年は加えてオオカナダモとアオコの繁茂にも立ち向かうことになりました。昨年、レンジャーによってオオアカウキクサ掃討大作戦が敢行され今年の春先にはクリークの水はきれいになりました。

今年は梅雨に入る前に好天が続き日光が十分に水中に届いたおかげでオオカナダモが急激に繁茂してしまいました。そのため水面は日光から遮断され水生生き物に深刻な悪影響をもたらしました。その後再び勢力をぶり返したオオアカウキクサと水流停滞によるアオコも発生しはじめたため、時間をとってはこれらの有害水草を駆除し水質保全を心がけています。